

平成26年11月4日

平成27年度予算編成方針

習志野市長 宮本 泰介

(社会経済情勢と国の動向)

我が国の経済は、平成26年10月の内閣府の月例経済報告によると、「景気は、このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」とし、先行きについては、「当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。」とする一方、「消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。」としている。

また、7月25日に「平成27年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針」が閣議決定され、「平成27年度予算は『中期財政計画』に沿って、平成26年度予算に引き続き、民需主導の経済成長と財政健全化目標の双方の達成を目指し、メリハリのついた予算とする。そのため、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を重点化する。」とし、「義務的経費や一部の経費を除く、その他の経費については、既定の歳出を見直し、前年度の当初予算額に100分の90を乗じた額の範囲内での要求」としている。

(本市の状況と財政見通し)

本市はこれまで、持続可能な行財政運営を目的として、継続的に経営改革に取り組み、また、予算編成にあたり庁内分権型予算の導入や経常的経費のマイナスシーリングなどの実施により、厳しい状況下においても、「文教住宅都市憲章」に基づく、市民本位のまちづくりに邁進してきたところである。

こうした中、平成25年度の一般会計決算を概観すると、歳入においては、その根幹となる市税収入の増収に加え、国の経済政策の反映等により株式等譲渡所得割交付金が大幅に増加し、普通交付税は減少したものの、経常一般財源は前年度を上回る状況となった。歳出においては、定年に係る退職手当や社会保障関係経費などの扶助費が増加したことなどから、経常経費に充当する一般財源は歳入における経常一般財源の伸びを大きく上回り、結果として、財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は92.8%と前年度に比べ2.5ポイント悪化することとなった。

また、今後の本市を取り巻く財政環境は、歳入では、市税収入は本年度も平成25年度に引き続き堅調であり、今後も同様に推移することが予想され、また、消費税率引き上げによる地方消費税交付金の増収が見込まれるものの、これらは社会経済情勢

に大きく影響を受けるものであること、また、市税の増収に伴い普通交付税が減収となることなどから、経常一般財源の伸びについては大きな期待ができないところである。歳出では、新庁舎建設工事に係る落札結果においては予定価格を下回ることとなったが、今後予定している公共施設再生計画に基づく各公共施設の再生整備に多額の財政需要が見込まれるところであり、そのための財源として発行する市債の将来的な公債費負担や少子高齢化が急速に進展する状況において、子ども・子育て支援をはじめとした扶助費などの義務的経費の増加は避けて通れない状況である。

そのようなことから、経常収支比率の改善は見込めず、依然として硬直化した財政構造下において、事業を実施するための財源として、基金に頼らざるを得ない厳しい状況が見込まれる。

(予算編成の基本方針)

このような状況ではあるが、平成27年度は、基本構想に掲げた本市の将来都市像である、「未来のために ～みんながやさしきでつながるまち～ 習志野」の実現に向けて、前期基本計画に基づき、以下の項目を重点事項として編成をする。

1. 誰もが健康を維持できる保健・医療・福祉を充実すること
1. とともに安心を築く危機管理・安全対策を推進すること
1. 暮らしを支える都市基盤の整備を推進すること
1. 自然と調和する環境づくりを推進すること
1. 子どもが健やかに育つ環境の整備を推進すること
1. 公共施設再生計画に基づき、公共施設再生を推進すること
1. 第一次経営改革大綱の着実な実行により、財政健全化を推進すること

(平成27年度予算編成に向けて)

平成27年度予算は、経常的経費については引き続き庁内分権型予算による配当方式とするが、限られた財源とともに限られた人員で、これらの重点事項を具現化するためには、職員一人ひとりが最少の経費で最大の効果を挙げるという行政事務の基本を再認識する必要がある。その上で、全ての事業について緊急性や必要性、費用対効果を十分に検証し、大胆な見直しに取り組むこととする。

また、新たに導入される制度や制度変更、消費税率の10%への引き上げなど、今後の国の動向については十分に注視をし、併せて、事業の着実な推進に向けた財源措置について、国に積極的な働きかけを行うほか、未利用地の有効活用や各種の広告収入を含む新たな財源確保に努めるものとする。